

高校再編県民フォーラム

～魅力と活力ある県立高校を目指して～

主催：栃木県教育委員会

<趣旨>

高校教育を取り巻く現状と課題及び「県立高校再編に関する検討会議」からの提言について県民の皆さんに御説明するとともに、これからの望ましい県立高校の在り方について、広く県民の皆さんから御意見・御提案を伺うため、フォーラムを開催いたします。

<日時・会場（定員）>

日 時	場 所	収容定員
平成 28 年 7 月 16 日（土曜日） 14 時～16 時（開場 13 時 30 分）	那須野が原ハーモニーホール 小ホール （大田原市本町 1-2703-6）	400 名
平成 28 年 7 月 23 日（土曜日） 14 時～16 時（開場 13 時 30 分）	栃木県立宇都宮工業高等学校 大講義室 （宇都宮市雀宮町 52）	300 名
平成 28 年 7 月 24 日（日曜日） 14 時～16 時（開場 13 時 30 分）	栃木市栃木文化会館 小ホール （栃木市旭町 12-16）	400 名

<内容>

- (1) 基調講演 『高校教育改革の意義と課題』
講師 宇都宮共和大学 シティライフ学部
教授 鈴木 健一 氏
- (2) 高校教育を取り巻く現状と課題の説明
- (3) 「県立高校再編に関する検討会議」からの提言の説明
- (4) 会場からの意見発表、提案



<参加対象者>

どなたでも参加できます。申込みは不要です。

<御意見の募集>

フォーラム会場での御意見のほかにも、下記問合せ先において、御意見を募集いたします。

募集期間：平成28年7月16日から平成28年9月30日まで

募集方法：封書、ファクシミリ、電子メール

<問合せ先>

栃木県教育委員会事務局 総務課 高校再編推進担当

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028-623-3364 FAX 028-623-3356

電子メールアドレス forum-hs@pref.tochigi.lg.jp

【資料1】 県立高校再編計画(平成17～26年度)の概要

◇ 新しいタイプの学校の設置

学校種	前期実行計画					後期実行計画					新しいタイプの学校数			
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	再編前	再編	再編後	
中高一貫教育校			宇都宮東	佐野				矢板東			0	3	3	
総合学科高校		小山城南							黒磯南		4	2	6	
科学技術高校							宇都宮工				0	1	1	
総合産業高校				小山北桜							0	1	1	
総合選択制高校		高根沢商 →高根沢	足利西 足利商 →足利清風		粟野 鹿沼農 →鹿沼南						0	3	3	
フレックス・ハイスクール	学悠館					県央以北の設置校 → 計画実施を見送り					0	1	1	
											計	4	11	15

◇ 男女共学化の推進

項目	前期実行計画					後期実行計画					男女別学高校数		
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	再編前	共学化	再編後
男女共学		小山城南 小山(普)	足利西 (足商と統合)	烏山 烏山女 →烏山		宇都宮東	佐野 佐野女 →佐野東				18	7	11
				《再編後の別学校》	男子校	宇都宮、栃木、足利、真岡、大田原							計5校
					女子校	宇都宮女、宇都宮中央女、栃木女、足利女、真岡女、大田原女							計6校

◇ 全日制高校の規模と配置の適正化

項目	前期実行計画					後期実行計画					全日制高校数			
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	再編前	閉校数	再編後	
学校の統合	足尾 日光 →日光明峰 芳賀 益子 →益子芳星	藤岡 栃木南 →栃木翔南 喜連川 氏家 →さくら清修	足利西 足利商 →足利清風	烏山 烏山女 →烏山	粟野 鹿沼農 →鹿沼南		田沼 佐野松陽 →佐野松桜 塩谷 矢板 →矢板					68	9	59

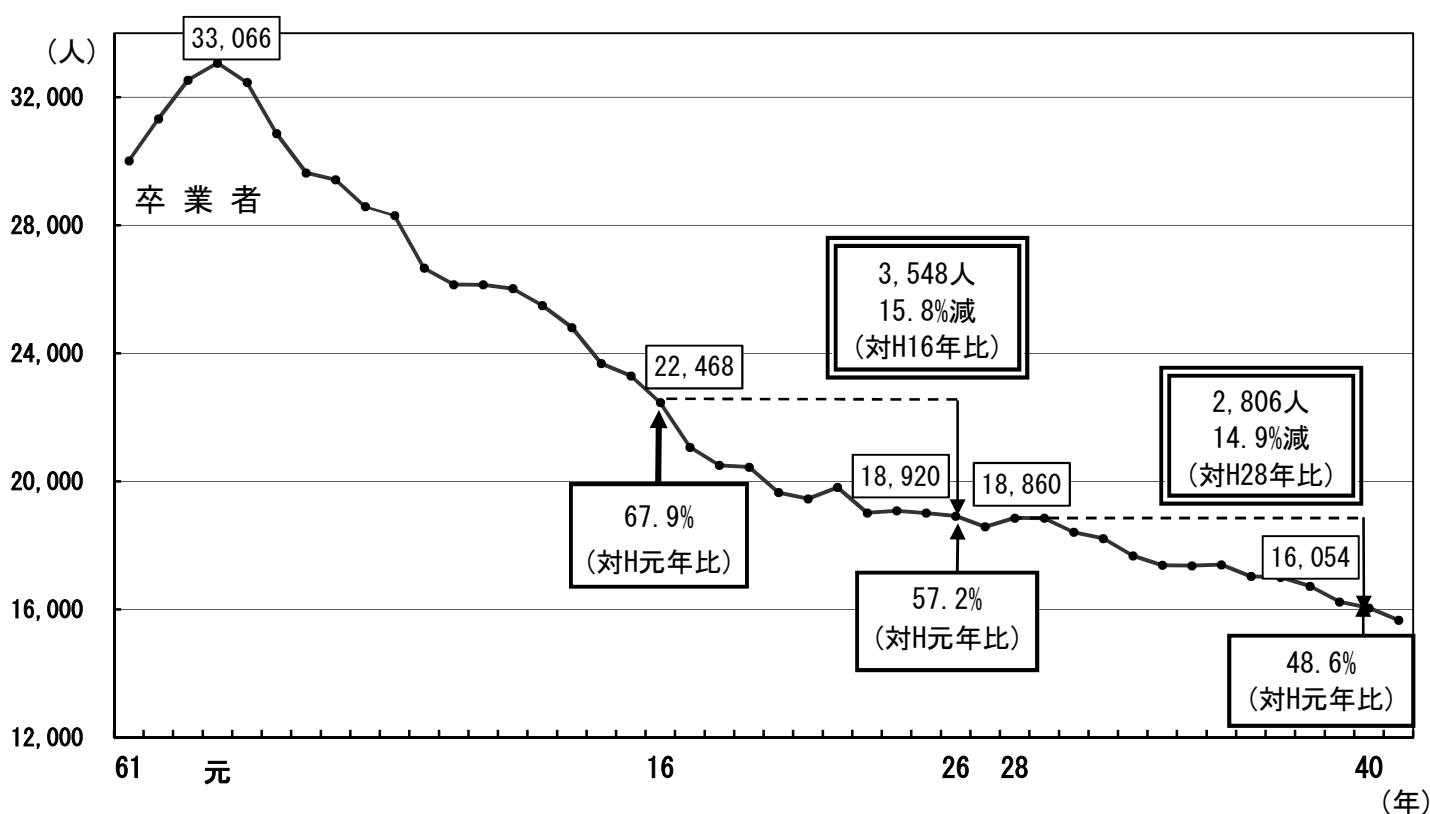
◇ 定時制・通信制高校の規模と配置の適正化

項目	前期実行計画				
	H17	H18	H19	H20	H21
定時制高校 (学悠館に統合)		小山、栃木 佐野、足利			
通信制高校 (学悠館に定員の 一部を移設)	宇都宮				

《現在 (H28) の定時制高校》
宇都宮工、宇都宮商、鹿沼商工、学悠館、足利工、真岡、大田原東、矢板東 計8校

《現在 (H28) の通信制高校》
宇都宮、学悠館 計2校

【資料2】 中学校卒業(見込み)者数の変遷



【資料3】 地区別 全日制県立高校の募集学級数見込（地区毎の生徒減少率によるH35、H40の試算）

年度		H28			H35	H40
宇都宮	中卒見込者数	5,017			4,810	4,803
	対H28比率	100.0%			95.9%	95.7%
		学級数	学科	備考		
	1	宇都宮	7	普	男子	計 合計学級数 68程度 68程度 学級減数 (対H28比) ▲ 2 ▲ 2
	2	宇都宮東	4	普	中高	
	3	宇都宮南	8	普		
	4	宇都宮北	8	普		
	5	宇都宮清陵	7	普		
	6	宇都宮女子	7	普	女子	
	7	宇都宮中央女子	7	普家	女子	
8	宇都宮白楊	7	農工商	総専		
9	宇都宮工業	8	工	科技		
10	宇都宮商業	7	商			
平均学校規模		7.0			6.8	6.8
上都賀	中卒見込者数	1,676			1,526	1,305
	対H28比率	100.0%			91.1%	77.9%
		学級数	学科	備考		
	1	鹿沼	6	普		計 合計学級数 30程度 26程度 学級減数 (対H28比) ▲ 4 ▲ 8
	2	鹿沼東	5	普		
	3	鹿沼南	5	普農家	総選	
	4	鹿沼商工	5	工商		
	5	今市	5	総		
6	今市工業	4	工			
7	日光明峰	4	普			
平均学校規模		4.9			4.3	
下都賀	中卒見込者数	4,556			4,304	3,870
	対H28比率	100.0%			94.5%	84.9%
		学級数	学科	備考		
	1	上三川	4	普		計 合計学級数 67程度 60程度 学級減数 (対H28比) ▲ 4 ▲ 11
	2	石橋	6	普		
	3	小山	6	普理		
	4	小山南	4	普体		
	5	小山西	5	普		
	6	小山北桜	5	農工商	総産	
	7	小山城南	5	総		
	8	栃木	6	普	男子	
	9	栃木女子	6	普	女子	
	10	栃木農業	5	農		
	11	栃木工業	5	工		
12	栃木商業	5	商			
13	栃木翔南	5	普			
14	壬生	4	普			
平均学校規模		5.1			4.8	4.3

年度		H28			H35	H40	
安足	中卒見込者数	2,581			2,195	1,967	
	対H28比率	100.0%			85.0%	76.2%	
		学級数	学科	備考			
	1	佐野	4	普	中高	計 合計学級数 34程度 31程度 学級減数 (対H28比) ▲ 6 ▲ 9	
	2	佐野東	6	普			
	3	佐野松桜	6	工商家福	総専		
	4	足利	5	普	男子		
	5	足利南	4	総			
	6	足利女子	5	普	女子		
	7	足利工業	5	工			
8	足利清風	5	普商	総選			
平均学校規模		5.0			4.3		3.9
芳賀	中卒見込者数	1,374			1,293		1,184
	対H28比率	100.0%			94.1%	86.2%	
		学級数	学科	備考			
	1	真岡	5	普	男子	計 合計学級数 26程度 24程度 学級減数 (対H28比) ▲ 1 ▲ 3	
	2	真岡女子	5	普	女子		
	3	真岡北陵	5	農商福	総専		
4	真岡工業	4	工				
5	益子芳星	4	普				
6	茂木	4	総				
平均学校規模		4.5			4.3	4.0	
那須	中卒見込者数	2,116			1,908	1,712	
	対H28比率	100.0%			90.2%	80.9%	
		学級数	学科	備考			
	1	大田原	6	普	男子	計 合計学級数 37程度 34程度 学級減数 (対H28比) ▲ 4 ▲ 7	
	2	大田原女子	6	普	女子		
	3	黒羽	4	普			
	4	那須拓陽	6	普農家			
	5	那須清峰	6	工商	総専		
6	那須	4	普商				
7	黒磯	5	普				
8	黒磯南	4	総				
平均学校規模		5.1			4.6	4.3	
塩谷・南那須	中卒見込者数	1,540			1,366	1,213	
	対H28比率	100.0%			88.7%	78.8%	
		学級数	学科	備考			
	1	矢板	5	農工商家福	総専	計 合計学級数 27程度 24程度 学級減数 (対H28比) ▲ 2 ▲ 5	
	2	矢板東	4	普	中高		
	3	高根沢	5	普商	総選		
4	さくら清修	6	総				
5	烏山	5	普				
6	馬頭	4	普水				
平均学校規模		4.8			4.5	4.0	

学科	備考
普通系学科	男子…男子校
普…普通科	女子…女子校
理…理数科	中高…中高一貫教育校
体…スポーツ科	総専…総合選択制専門高校
総…総合学科	総選…総合選択制高校
職業系学科	科技…科学技術高校
農…農業科	総産…総合産業高校
工…工業科	
商…商業科	
家…家庭科	
福…福祉科	
水…水産科	

年度		H28	H35	H40
県全体	中卒見込者数	18,860	17,402	16,054
	対H28比率	100.0%	92.3%	85.1%
	学級数見込	312	289	267
	学級減数(対H28)	—	▲ 23	▲ 45
	平均学校規模	5.3	4.9	4.5
学科の割合		普通系68.8:職業系31.2		

* 学科の割合は募集定員による

【資料 4】

「県立高校再編に関する検討会議」からの提言の概要(H28.3.2)

1 全日制高校の規模と配置の適正化について

- 1 学年 4～8 学級を適正規模とし、統合等により学校規模の維持に努めていくことが望ましいが、一部の周辺地域では特例として、適正規模未満の高校(特例校)も認めることが望ましい。また、特例を認める高校については、不公平感が生じないよう明確な基準を定める必要がある。
- 周辺地域で特例を認めて学校を維持するためには、市街地域での統合等の検討が必要である。
- 特例校の下限は 3 学級とすべきとの意見が多数を占めたが、特色化と併せて総合的に検討することが望ましい。
- 将来的に特例校の入学者数が減少し、活力を維持できなくなった場合は、統合も必要である。その際、複数年の入学者数の推移等から判断するなど明確な基準を示すことが望ましい。

2 学科の構成と配置の適正化について

- 普通系学科と職業系学科の募集定員の割合は、現在の 7 : 3 を概ね維持することが望ましい。
- 職業系学科の構成は、産業・就業構造等の変化に対応する観点から検討することが望ましいが、介護、看護、情報分野は、内容が高度化し高校教育では限界があるので、学科設置以外での対応も含め検討することが望ましい。
- 農、工、商など各学科の教育の機会が確保されるよう、配置の適正化に努めることが望ましい。
- 職業系学科は、専門的知識・技術の高度化に対応できるよう、教育内容の充実に取り組む必要がある。また、地元企業や地域と連携した教育活動の推進に一層努めていくことが望ましい。

3 学校の特色化・新しいタイプの学校について

- 義務教育段階の学習内容を学び直す機会やインターンシップの充実のほか、地域社会を担う人材育成を図る観点から、普通系高校でも地域の特性を生かした学びの機会の充実が必要である。
- 大学進学を目指す生徒が多い、ある程度大きな規模の高校へ単位制を導入することが望ましい。
- 中高一貫校は、既存校の高校段階の学級数や中等教育学校への転換について検討することが望ましい。また、設置拡充については、他の公私立中学校に与える影響など、様々な観点を考慮しながら慎重に検討する必要がある。
- 地域の教育力を活用するため、コミュニティ・スクールの導入を検討することが望ましい。

4 男女共学化について

- 時代の流れを踏まえると、基本的には共学化を推進することが望ましいが、一律の共学化には課題もあるため、県民の理解を得ながら、地域の実情等に応じて推進することが望ましい。
- 別学校が小規模化し活力低下が懸念される場合は、統合と併せての共学化も必要である。また、宇都宮など男女別募集定員の片寄りのある地域は、バランスを整えることが必要である。

5 定時制・通信制の在り方について

- 不登校生徒等の学び直しの場合、高校教育のセーフティネットの役割を果たしていく必要がある。
- 定時制は通学に配慮し、県北、県央、県南、県東の 4 地域程度に分けて統合再編し、午後から夜間などの時間帯で開講する一定規模の昼夜間定時制を複数校設置することが望ましい。また、昼夜間定時制は、独立校が望ましいが全日制と併置する場合は施設面で分離する必要がある。
- 通信制は、通信制への進学者が少ない地域への協力校等の設置を検討することが望ましい。

栃木県の県立高校再編については、下記のサイトでご覧いただけます。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m01/education/kyouikuzenpan/keikaku/koukousaihen-top.html>